



お預かりしているのは、 人生だから。

「リそな」

8308

100株

株価*

407円

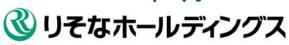
*2013/1/31終値

真のリテールバンクをめざして



RESONA

2013年3月





本日、お伝えしたいポイント

『りそな』の強み





- 〇『2大都市圏』、『リテール業務』にフォーカス
- 1,300万のお客さま基盤と『信託』を活かした独自のサービス

『りそな』は、健全なバランスシート、安定した業績





- 健全な資産内容で、リーマンショック時も黒字を確保
- 今期(2013/3期)の業績も順調です

<u>『りそな』には、2つの株式価値向上ドライバー</u>





○ 利益成長に加え、公的資金返済を着実に進めることで更なる 株式価値の向上を目指します。

CONTENTS

《『りそな』の強み》
Q 1. 『りそな』ってどういう意味ですか?・・・・・・・・・・・・・・・・・3
Q 2. りそなってどんな銀行なんですか?・・・・・・・・ 5
Q 3. りそなのビジネス上の強みは何ですか?・・・・・・9
Q 4. りそなのお店は便利に使えるんですか?・・・・・・15
《『りそな』は、健全なバランスシート、安定した業績》
Q 5. りそなは公的資金が入ってからどう変わったのですか?···········20
Q 6. 今期の業績は?今後のビジネスの展望について教えてください·····25
Q 7. "アベノミクス"って銀行にどんな影響があるんですか?・・・・・・28
《『りそな』には、2つの株式価値向上ドライバー》
Q 8. りそなの公的資金はどれくらい残っているのですか?いつ返せるのですか?30
Q 9. りそなの株主還元について教えてください・・・・・・33
Q10 りそなのCSR活動について数えてください ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・37

Q1. 『りそな』ってどういう意味ですか?



Α

- ▶「りそな」は、「共鳴する、響きわたる」という意味を持つラテン語からの造語です。
- ▶「リージョナル」つまり、<u>地域のお客さまの声に耳を傾け、共鳴し、響きあい、揺るぎのない絆を築きたいという思いをこ</u>めています。

Resona: 【共鳴する、響きわたる】(ラテン語からの造語)



お客さまの声に耳を傾け、共鳴し、響き合い、お客さまとの間に揺るぎない絆を築きます。地域のお客さまと互いにふれ合い、感じ合い、理解し合う中から生まれる信頼関係を大切にします。

Q2. りそなってどんな銀行なんですか?



Α

- ▶ りそなグループは、<u>総資産約42兆円、</u>店舗網はメガバンクに匹敵しますが、目指しているのは4番目のメガバンクではありません。

りそなグループの位置づけ

リそなホールディングス

総資産 42.5兆円 信託財産 23.5兆円

埼玉リそな銀行

総資産 11.3兆円

リそな銀行

総資産 27.2兆円 信託財産 23.5兆円

近畿大阪銀行

総資産 3.7兆円

《信託勘定》

112兆円

50 兆円

2兆円

23兆円

126兆円

(2012年9月末現在)

三菱UFJFG

みずほFG

三井住友FG

りそなHD

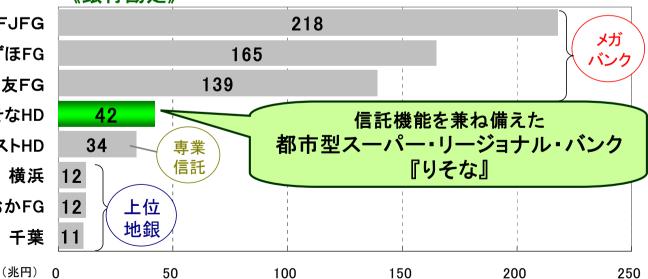
三井住友トラストHD

横浜

ふくおかFG

千葉

《銀行勘定》



りそなグループのネットワーク

首都圏・関西圏において強固なプレゼンス

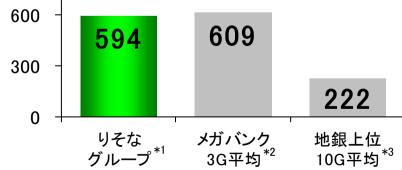
3



(2012年9月末現在)



(店舗数) **<メガバンクに匹敵する有人店舗数>**



ATMネットワーク (2012年12月末現在)

- りそなが運営するATM等:約7,400台 ('12/5月から時間外手数料無料のATMを順次拡大中)
- ■提携コンビニATM:約39,600台

インターネットバンキングご契約者数



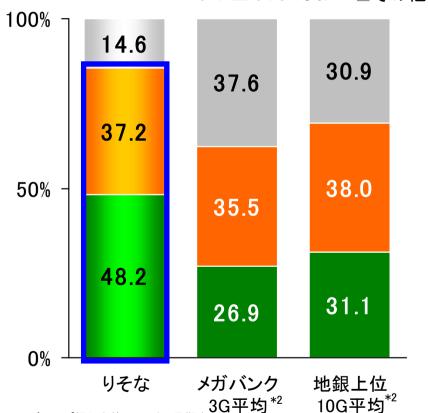
- *1. グループ銀行合算(りそな銀行、埼玉りそな銀行、近畿大阪銀行)、2012年9月末現在
- *2. 出所:各行2012年9月期決算資料、三菱東京UFJ+三菱UFJ信託、みずほ+みずほCB+みずほ信託、三井住友
- *3. 出所: 各行2012年9月期決算資料、連結総資産で上位10地銀グループ(ふくおかFG、横浜、千葉、ほくほくFG、静岡、山口FG、常陽、札幌北洋HD(北洋銀行)、西日本シティ、

七十七: 各社2012年9月中間(一部3月)決算資料)

リテール業務に特化する一方で、高い効率性を実現

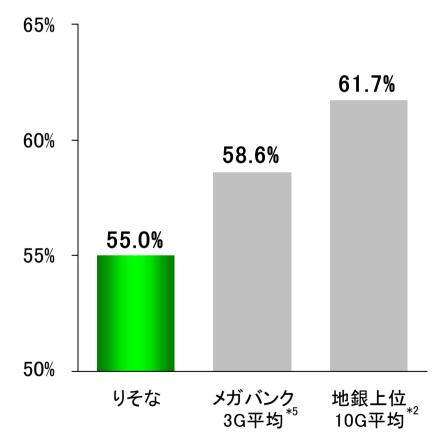
貸出金ポートフォリオの比較 *1

- ■貸出金は中小企業及び個人のお客さま向けが全体の8割以上
 - ■個人向け貸出 ■中小企業向け貸出 ■その他



連結経費率の比較 *3,4

■経営の効率化が進展し、経費率は 業界平均を下回る水準



- *1. グループ銀行合算、2012年3月期末
- *2. メガバンク: 三菱東京UFJ+三菱UFJ信託、みずほ+みずほCB+みずほ信託、三井住友 地銀上位10G: 連結総資産で上位10地銀グループ(ふくおかFG、横浜、千葉、ほくほくFG、静岡、山口FG、常陽、札幌北洋HD、西日本シティ、七十七)
- *3. 2012年3月期 *4. 連結経費率=経費/業務粗利益 *5. MUFG、SMFG、みずほFG

Q3. りそなのビジネス上の強みは何ですか?



Α

- ▶ りそなは、メガバンクでも、専業信託でも、地方銀行でもありません。りそなの強みは例えば
 - ① お客さまの視点で取組んできたサービス改革のあゆみ
 - ② 約1,300万のお客さまの基盤
 - ③ そのお客さまに提供できる独自の機能
 - ⇒ りそな銀行は、商業銀行でありながらフルラインの 信託機能を有する唯一の銀行
 - ⇒ 歴史的に強みを持つ住宅ローン ・・・・・・等です

お客さまからのご評価

リテールカ

お客さまの満足度

りそなグループが 1・2位独占

■ 日経 第8回 銀行リテールカ調査 (2012年9月)

【銀行リテールカ ランキング 総合】

1	りそな銀行					
2	埼玉りそな銀行					
3	みずほ銀行					
4	横浜銀行					
5	東京スター銀行					
6	静岡銀行					
7	徳島銀行					
8	千葉銀行					
9	三井住友銀行					
10	但馬銀行(兵庫)					

✓ 店頭サービスと商品充実度で高い評価

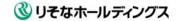
りそなグループが 大手行で1・2位

■ 日経 第9回 金融機関ランキング (2013年1月)

【顧客の満足度評価】

1	ソニー銀行					
2	住信SBIネット銀行					
3	京都中央信用金庫					
4						
5	セブン銀行					
6	りそな銀行					
6 7	りそな銀行 大垣共立銀行					
6 7 8						
7	大垣共立銀行					

世代別顧客満足度50代 1位 りそな銀行, 60代 1位 りそな銀行



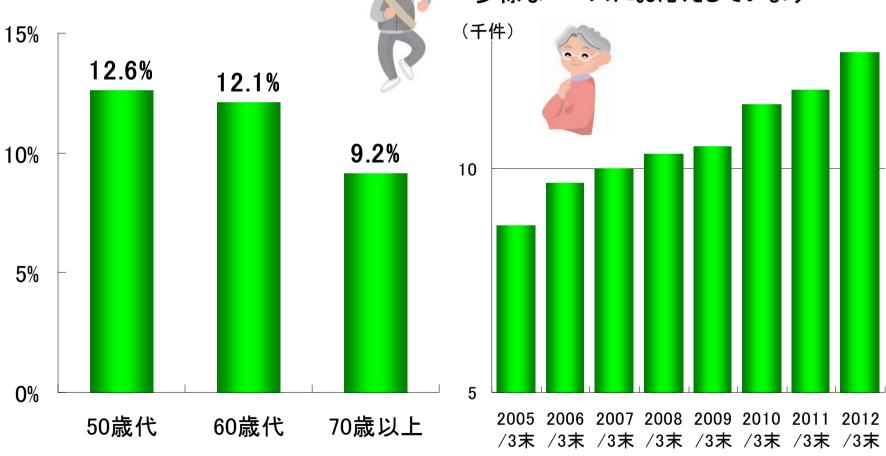
信託銀行『りそな』の強み

りそなの活動顧客数/年齢層別人口*

■50~70代の10人に1人以上が、既に りそなのお客さま

遺言信託保管先数の推移

■りそなでは、シニア世代の皆さまに、より 身近に信託のサービスをご活用いただき 多様なニーズにお応えしています

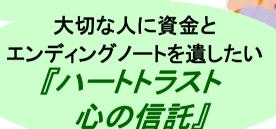


*. 活動顧客数は2012年3月31日現在(グループ銀行合算)、年齢別総人口は総務省人口推計(2012年4月1日現在、概算値)

ニーズをふまえたパッケージ商品

オーダーメードでお応えする商品

新たな運用商品を検討したい 実績配当型金銭信託 『信託のチカラ』



運用しながら必要に 応じ引出したい マンション修繕 積立金信託

社会のために寄附をしたい 特定寄附信託 『応援の絆』

万一に備えたい 遺言信託



自分と大切な人の未来のために、計画的な資金管理を

『マイトラスト 未来安心図』

円滑に事業を承継したい

自社株承継信託



不動産について相談したい 不動産仲介・ コンサルティング

本頁に掲載している各商品のご利用時には所定の手数料や信託報酬を申し受けます。なお、商品によっては相場変動などにより元本の欠損が生じるおそれがあります。また、審査によりご希望に添えない場合がございます。各種条件、詳細は店頭あるいはホームページでご確認ください。(株式会社りそな銀行)

《リテール×信託》が時代に応えられること②

※信託商品の一例です



本頁に掲載している各商品のご利用時には所定の手数料や信託報酬を申し受けます。なお、商品によっては相場変動などにより元本の欠損が生じるおそれがあります。また、審査によりご希望に添えない場合がございます。各種条件、詳細は店頭あるいはホームページでご確認ください。(株式会社りそな銀行)

歴史的に強みを持つ住宅ローンを更に強化

りそなは、多彩な商品をご提供 ※商品の一例です ここ7年間の住宅ローンの伸びは、メガバンク比トップ

通常の団体信用生命 保険よりも引受範囲 を拡大 ————

ワイド団信 プラン



女性の素敵な決断を応援する住宅ローン

女性向け 専用住宅 ローン



「がん」「急性心筋梗塞」 「脳卒中」と診断されると 保険金が支払われます

3大疾病 保障特約付 住宅ローン

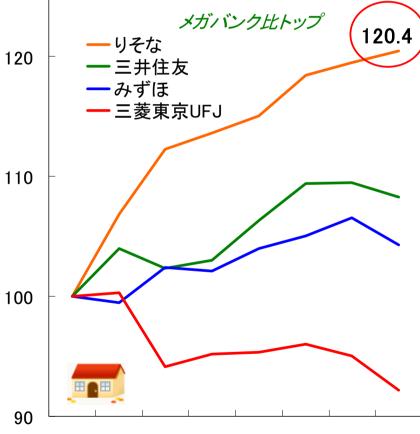


省エネ・エコロジーを 応援する

各種住宅ローン 各種リフォーム



(%) <住宅ローン残高の伸び率*2>



2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 /3月 /3月 /3月 /3月 /3月 /3月 /3月 /3月

土日営業拡大中

住宅ローン専門拠点76ヶ所中 48ヶ所で休日営業を実施しています*

Q4. りそなのお店は便利に使えるんですか?



Α

りそなの強み

- ▶ りそなは、お客さまの視点で改革を行い、独自のサービスを ご提供しています。例えば、以下のような特長があります。
 - ・お客さまの利便性とコスト削減を両立する店舗改革
 - ・りそな銀行、埼玉りそな銀行の窓口は平日17時まで
 - ・週7日営業の店舗も開設
 - ・テレフォン/インターネットバンキングは24時間365日

お客さまの視点で店舗を改革

■お客さまのご相談スペースを倍増、銀行の事務スペースを半減。通帳、印鑑を不要に

従来の店舗・お手続き



・通帳、印鑑、伝票で 「心配」・「面倒」





『待ち時間ゼロ』の店舗を目指して

■次世代型店舗スタイルやコミュニケーション端末を活用して お手続きのシンプル化とサービス向上の両立を図っています。

総合受付



- ・ご来店時には、まず入り口から 一番近い総合受付へ
- ・ご用件を伺い、担当ブースに ご案内します

クイックナビ



- ・税公金納付、振込等はATM を併設したクイックナビへ
- ・書類記入不要等でスピーディー なお手続きが可能に

コミュニケーションブース



- ・資産運用等のご相談は、 コミュニケーションブースへ
- ・専門の担当者が、落ち着いた 雰囲気のブースで承ります

クイックナビは特許取得済!!

お客さまとの接点拡充 ①

■関西最大のターミナル/梅田に19時まで営業、年中無休店舗 ■りそな銀行、





埼玉りそな銀行は、 平日17時まで営業



■ テレフォン・バンキング、インターネット・バンキングは24時間365日*







お客さまとの接点拡充 ②

- ■お客さまのニーズに基づいた富裕層ビジネスの展開
- ■お客さまが もう一度来たいと思う「居心地」の良さ を追求





Q5. りそなは公的資金が入ってからどう変わったのですか?

A.

- > 2003年の約2兆円の公的資金注入以降、抜本的な経営 改革、<u>『りそな改革』に取組</u>んでまいりました。
- ▶ リテール業務を中心に本来の銀行業務に特化し、<u>持続的な</u> 成長に向けた経営体制を実現しています。





りそな改革① 負の遺産との決別

不良債権

■不良債権問題との決別

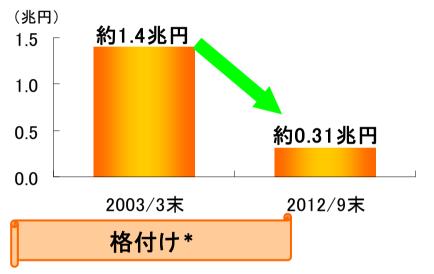


■コアビジネスへの回帰

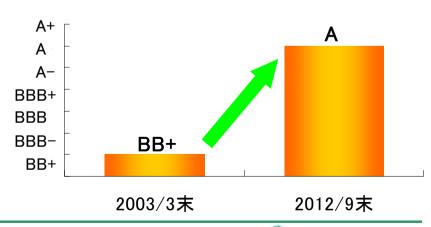


保有株式残高

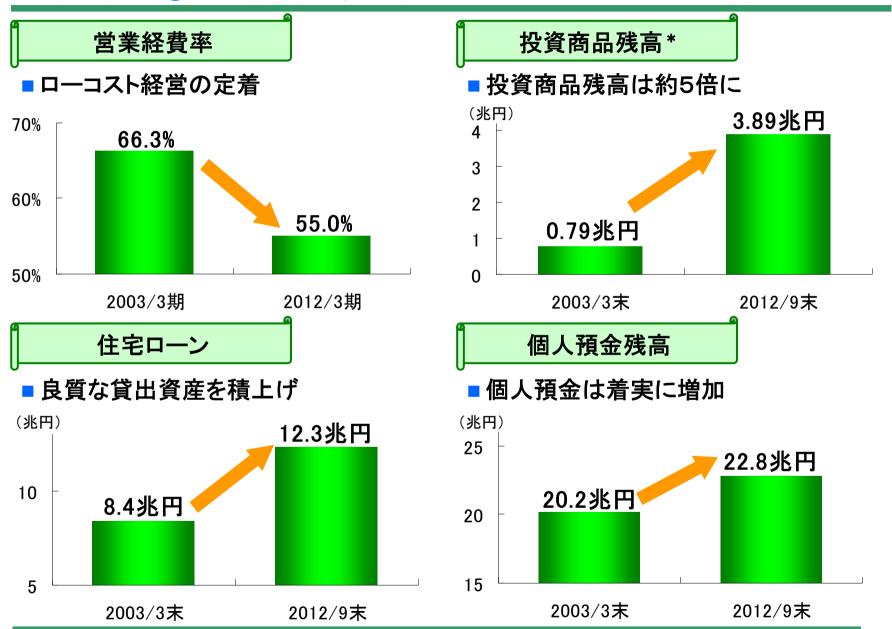
■1兆円以上を削減



■大幅改善(5段階向上)



りそな改革② 持続的成長を実現



^{*.} 個人向け投資商品=個人向け投信、公共債、保険、外貨預金等

健全なバランスシート

■ダウンサイドリスクの小さい健全な財務体質を維持

健全な貸出金ポートフォリオ

・住宅ローンが47% (グループ銀行合算)を占めるほか、法人向け貸出も約9万先の中堅・中小企業に小口分散

> 保守的に管理 された有価証券 ポートフォリオ

- ・日本国債中心の運用
- ・国債の平均残存期間 は2.6年
- ・保有株式の含み損益 がゼロとなる日経平均 株価は7,100円程度

<u>りそなホールディングス 連結バランスシート</u> (2012年9月末現在)

> 貸出金 25.9兆円

うち住宅ローン

12.3兆円 (グループ銀行合算)

> 有価証券 10.5兆円

その他資産 6.0兆円 預金 33.8兆円

その他負債 6.6兆円

> 純資産 1.9兆円

安定した調達構造

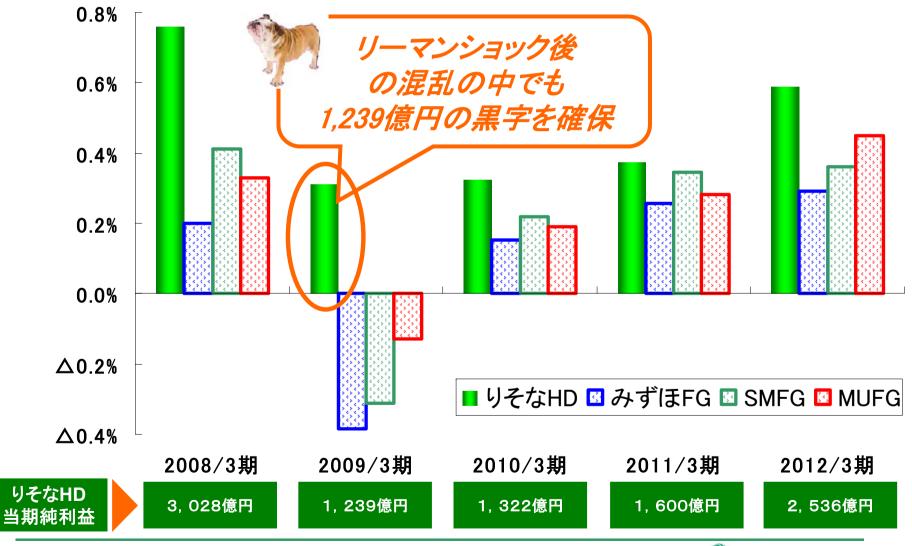
・強固な預金基盤 約1,300万の個人 のお客さま基盤 ⇒安定した資金 調達が可能

十分な水準の 自己資本比率を 維持

自己資本比率は 14.15% 引き続き十分な 水準を維持

連結ROA(当期純利益/総資産)の推移

- ■安定した黒字体質を実現
- ■総資産対比の利益はメガバンクにも劣らない水準



Q6. 今期の業績は? 今後のビジネスの展望について教えてください

A.

- ▶ 今期の第3四半期までの業績は、純利益が2,292億円となっています。今期の4分の3を終えて、通期の業績予想(2,300億円)に対して、99%の進捗率となっています。
- ▶ 来期以降も、グループの総合力を発揮して、各ビジネスを伸ばしていく計画です。





2013年3月期業績の進捗状況

- ■第3四半期までの連結純利益は2,292億円
- 今期の4分の3を終えて、今期計画(2,300億円)に対する進捗率は99.6%

(億円)	2013/3期 1~3Q(9ヵ月)	前年同期比	通期計画比 進捗率	2013/3期 通期計画(12ヵ月)		
3行合算ベース						
業務粗利益	4,292	△ 169	75.0%	5,720		
経費	△ 2,482	+35	73.4%	△ 3,380		
実勢業務純益	1,809	△ 133	77.3%	2,340		
与信費用	227	+222	_	△ 200		
連結ベース						
純利益	2,292	+715	99.6%	2,300		

今後のフォーカスビジネスの展望

(銀	行合算ベース)	2012/3期 (実績)	2013/3期 (計画)	2016/3期 (計画)	2012/3期 vs 2016/3期
	個人向け投資信託 販売額	6,962億円	7,250億円	8,350億円	十1, 388億円 (19. 9%増加)
個人	保険販売額	2,883億円	4,020億円	4,180億円	+1, 297億円 (44. 9%増加)
	住宅ローン(居住性) 実行額	10,486億円	12,140億円	12,970億円	+2, 484億円 (23. 6%増加)
	富裕層向け貸出 実行額	4,015億円	5,430億円	6,060億円	+2, 045億円 (50. 9%増加)
	承継信託機能 利用件数	2,545件	3,040件	4,240件	+1, 695件 (66. 6%増加)
	不動産業務収益	78億円	100億円	110億円	+32億円 (41. 0%増加)
洪人	中小企業貸出先数	85,800先	85,830先	89,400先	+3, 600先(4. 1%増加)

Q7. "アベノミクス"って銀行にどんな影響があるんですか?

A.

- → 新政権の経済対策は、『強い経済』を取り戻すことを主眼としています。
- ▶ 政策が浸透し、本格的な景気回復が実現すれば、銀行ビジネスにとって、総じてプラスに作用することが想定されます。



アベノミクス 中期的な銀行収益への影響

想定される銀行収益(全般)への影響*

主な収益項目	収益寄与の 方向性	背景			
資金利益	† (+)	貸出金の増加。			
手数料収益	† (+)	金融商品販売の拡大。不動産取引の活性化。			
債券関係損益	↓ (−)	金利上昇に伴う国債価格の下落。			
株式関係損益	† (+)	保有株式価格の上昇。			
与信費用	† (+)	企業倒産の減少。担保価格の上昇。			

個々の政策から想定される個別ビジネスへの影響(例)

政策項目	今後、想定される施策等	りそなのビジネスへの影響		
金融政策	・無期限の金融緩和 ・インフレターゲットの導入	·資金需要喚起⇒貸出増加		
財政政策	・大規模な財政出動	・資金需要喚起⇒貸出増加 ・日本国債の金利上昇に伴う債券損益への影響		
成長戦略	・下記4分野への施策 ・健康・エネルギー ・次世代インフラ・農林水産業	・成長分野の資金需要喚起⇒貸出増加		
税制改正	・富裕層増税・孫への教育資金贈与非課税措置・住宅ローン減税・消費税増税	・信託等活用したコンサルニーズ⇒貸出増加、フィービジネス ・住宅ローンニーズ喚起 ⇒ 住宅ローン		

Q8. りそなの公的資金はどれくらい残っているのですか? いつ返せるのですか?



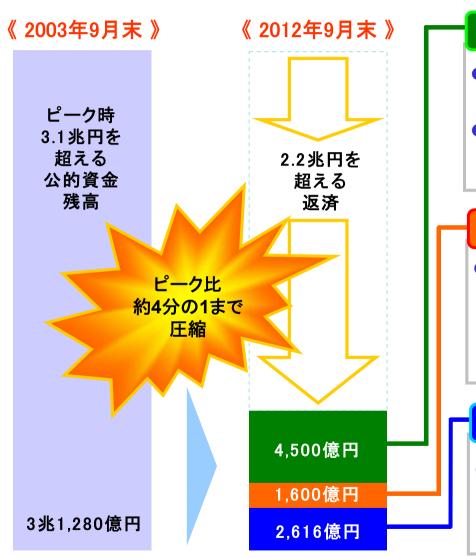
Α

- 公的資金の残高は、ピーク比<u>約4分の1の8,716億円*まで減少</u>しています。
- ▶ 返済原資となる合算剰余金は順調に積み上がっています。

公的資金返済の軌跡と今後の返済方針

公的資金返済の軌跡

今後の返済方針



預金保険法優先株式 残存額 4.500億円

- 今後の利益(剰余金)を累積し返済する予定
- 足元の利益実績をふまえると、5年程度 での完済が展望できる

早期健全化法優先株式 残存額 1,600億円

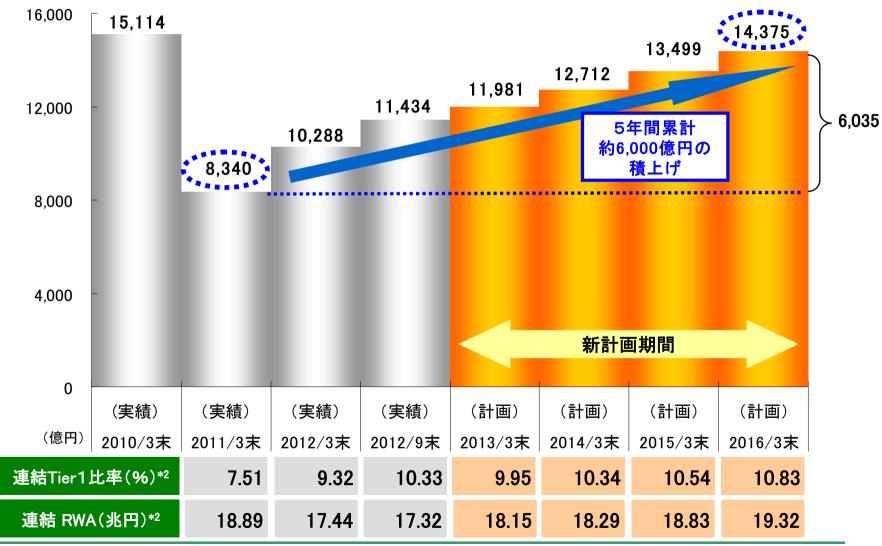
●一斉取得となった場合に交付することに なる普通株式は、既に自己株式として保 有しており、発行済株式数の増加はほと んど生じない見込み

普通株式 残存額 2.616億円

●預金保険機構が保有する普通株式に関しては、当面、当社として売出しの申し出は行わない方針

合算剰余金の蓄積

2016/3末までに残存する公的資金優先株式6,100億円を上回る 14,375億円の合算剰余金を蓄積できる見通し



^{*1.} りそなHD+傘下銀行(各単体)で確保している剰余金の合計額

^{*2.} 現行規制 (バーゼルII F-IRB 国内基準)を前提としており、A-IRBへの移行等は織り込まず

Q9. りそなの株主還元について教えてください。



A

- ▶ 2011年3月期より、年間普通株式配当を2割増額し、1株 あたり12円としました。
- 当面は安定配当を維持すると共に、公的資金の早期返済を 実現できるように努めてまいります。
- 戸 預金保険法優先株式の完済後、配当性向等の目標水準を 含めた配当方針を明確化する予定です。
- 利益成長に加え、公的資金優先株式の返済を通じた潜在株式の削減により、株式価値の向上を目指してまいります。

株式配当

■2011年3月期に実施した公的資金優先株式の返済に伴う優先株式配当の減少を 見合いとして、同期末より1株あたり普通株式配当を2割増加

2010年3月期年間配当

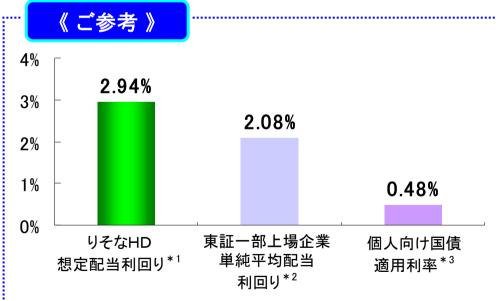
2013年3月期年間予想配当

① 普通株式配当金

・りそな資本再構築プラン(2010年11月公表) ・公的資金優先株式の大規模返済の実施

1株あたり 10円

1株あたり12円



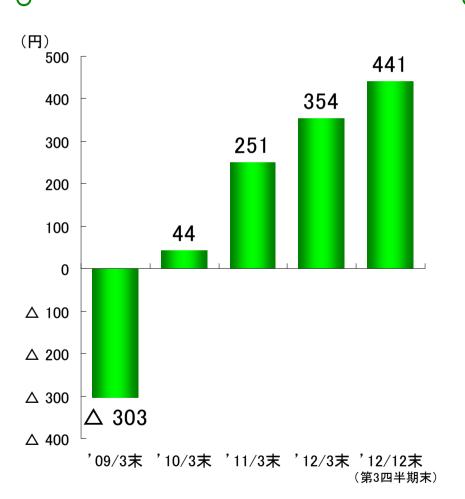
預金保険法優先株式を完済後、 配当性向等の目標水準を 含めた配当方針を 明確化する予定です。

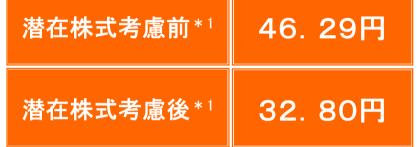
*1. 今期1株当り配当予想額12円/407円(2013/1/31 終値)*2. 2012年12月月中平均 *3. 第41回債(2013/1/15発行)

普通株式1株あたり純資産(BPS)は着実に増大

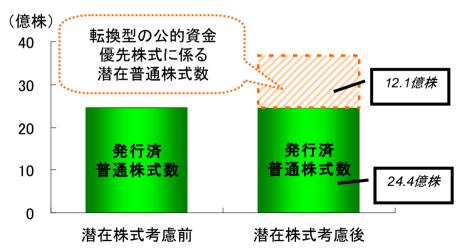
普通株式1株あたり純資産 (BPS)の推移

普通株式1株あたり利益(EPS)*2



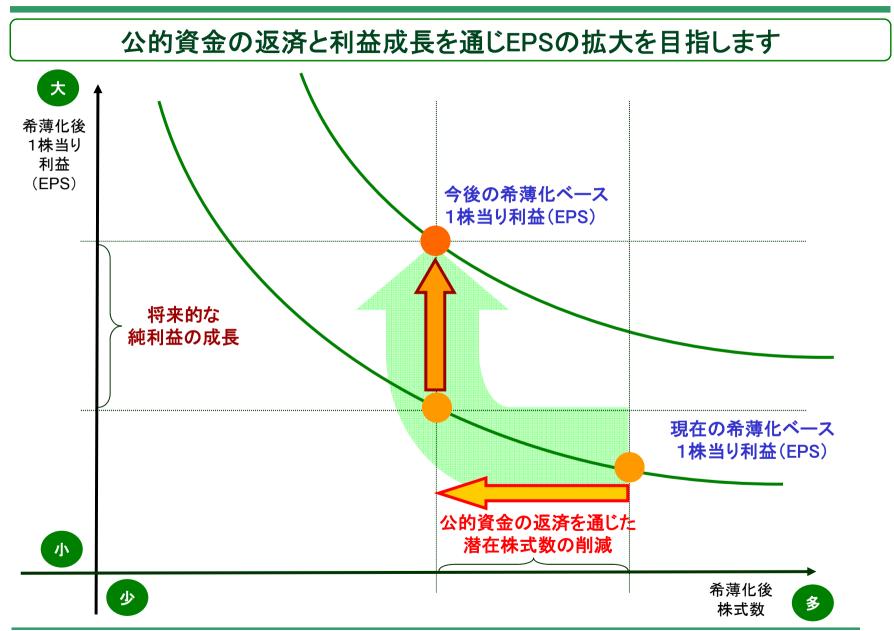


*1. 普通株式数(潜在株式考慮前および考慮後)



- *2.2014年3月期計画ベース(経営の健全化のための計画)
- *3. 株価前提:407円(2013/1/31終値)

2つの株式価値向上ドライバー



Q10. りそなのCSR(=企業の社会的責任)活動に ついて教えてください。

Α

- ▶ りそなグループでは、『銀行経営はCSRそのものだ』と捉えています。
- ▶ 『CSR経営=持続可能な社会づくりへの貢献』と位置付け、 りそなグループの持つ経営資源を活かして、社会的課題の 解決に貢献できるよう、さまざまな活動に取組んでいます。





りそなのCSR① 子ども向け金融経済教育

『りそなキッズマネーアカデミー』

2012年夏までに約23,000人が参加 自治体や学校、企業とのコラボで 「地域オリジナル企画」を実施 お金の大切さに加え、環境や食・健康など、 複合的に学習



水力発電機を 動かす体験 環境に優しい 社会づくりを 学習



低学年から ゲームで楽しく お金の大切さを 学習

予算内でカレーの材料を調達お金と食の大切さを実感

大学の講義を体験 テーマは 「健康に関する英語」



りそなのCSR② 地域経済の活性化のために



『SAKAI環境ビジネスフェア』

「環境」をキーワードとしたビジネスマッチングの場を提供



『合同企業面接会』

学生の就職支援と地元企業の人材確保を 支援するため、「就活」の機会を提供



りそなDEモニター会

中小企業のお取引先の商品開発支援の ために、地域の消費者モニターから 生の意見を聞くイベントを企画



りそなのCSR③ ノーマライゼーション





(優先ATM)



車椅子で利用 可能な記帳台や 貸金庫ブース等 を設置

簡易筆談器・ 無線式振動 呼出器の設置



優先ATM/優先シート

お身体の不自由な方や、ご高齢の方、妊娠されている方などに優先してご利用いただける「優先シート」「優先ATM」を全有人拠点に設置



コミュニケーション ボードの設置

りそなのCSR4 ダイバーシティの推進

りそなウーマンズカウンシル

女性が活き活きと活躍できる風土づくりに 向けた経営直轄の諮問機関





りそなパパママの会

子育てや仕事の両立について一緒に考える機会を提供



『日経WOMAN』(2012年6月号)

【女性活用度】部門第1位(りそな銀行)

~女性活用の専任組織の有無や 女性社員向けの研修制度などで評価~

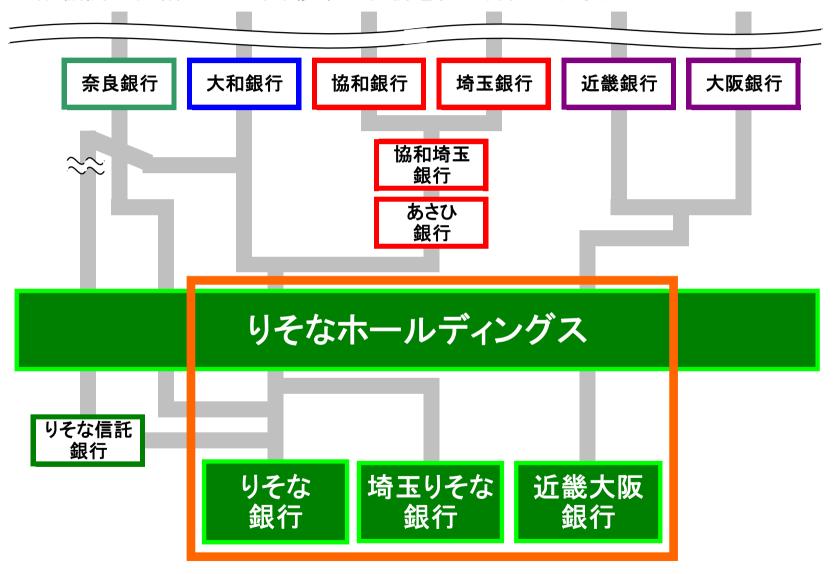


復職支援セミナー

ご参考資料

『 りそな 』のあゆみ

■金融機関の再編が進む中、複数の合併を経て現在のりそなグループに



中小企業お取引先の多様な二一ズにきめ細かく対応

企業オーナーの承継ニーズ支援

さまざまなソリューションを提供

自社株· 資産承継信託 資産管理会社 向けご融資

M&A仲介

不動産仲介 有効活用 コンサル

アパート・ マンションローン 事業転換コンサル

■ 自社株・資産承継信託(新規ご利用件数)



■ 資産管理会社等向け貸出(実行額)

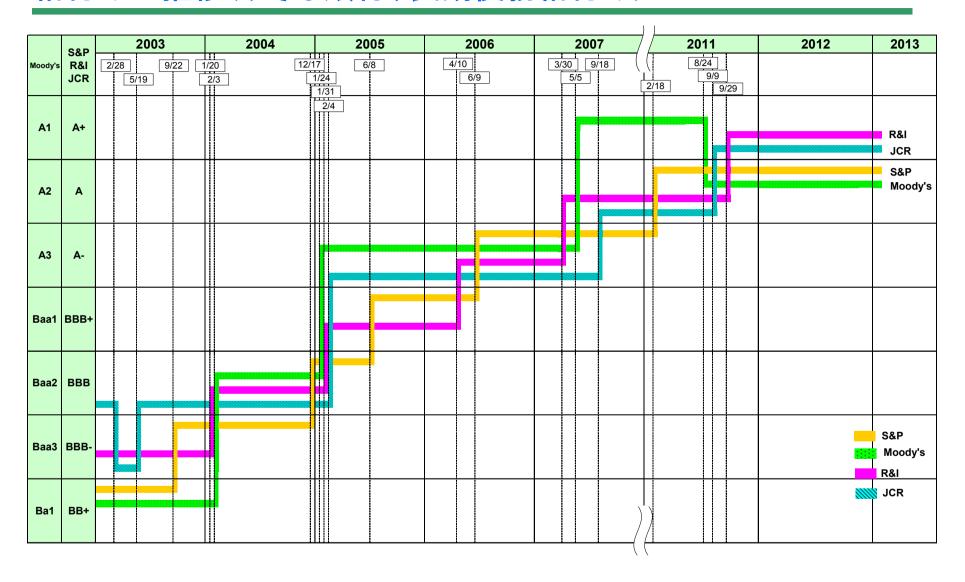


中小企業のアジア進出支援

- 業歴50年超の現地合弁銀行(りそな銀行)
 - りそなプルダニア銀行(インドネシア)
- 海外駐在員事務所(りそな銀行)・・・ 4拠点
- 提携銀行を通じた現地サービス
 - 圧倒的な支店数と現地ノウハウ
 - 外銀向け規制に縛られず現地サービス を提供

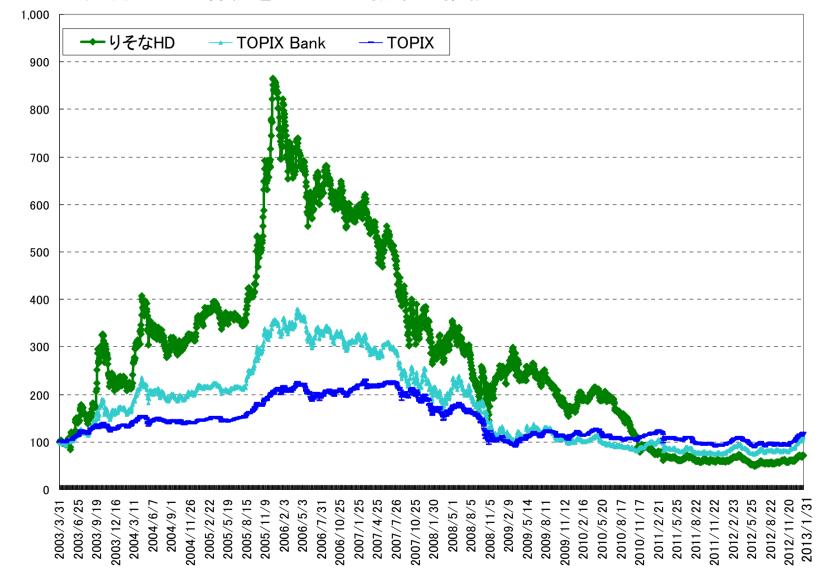


格付けの推移(りそな銀行、長期債務格付け)



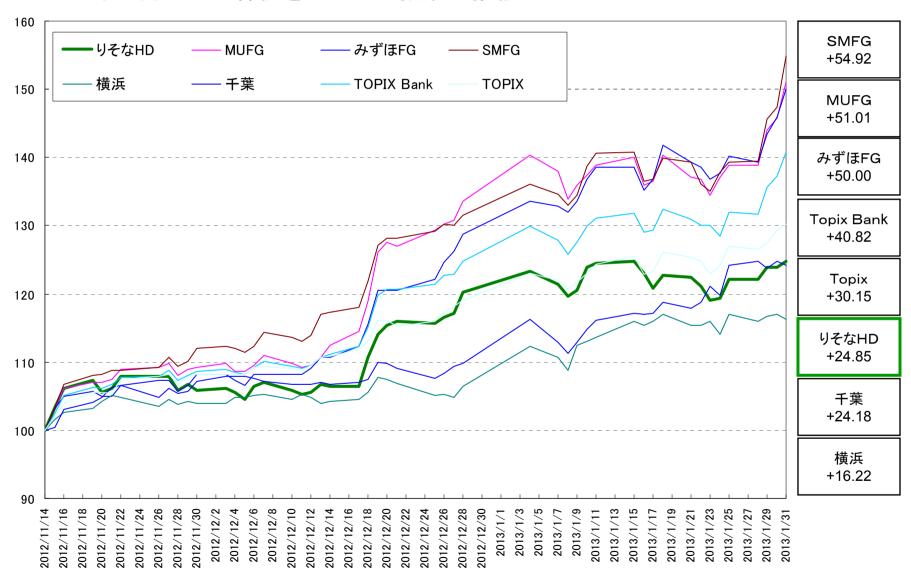
株価推移 ①

■ 2003年3月31日の株価を100とした指数の推移 (2003.3.31~2013.1.31)



株価推移②

■ 2012年11月14日の株価を100とした指数の推移 (2012.11.14~2013.1.31)



本資料内で使っている用語のご説明

本資料の中にでてくる用語の一部についてのご説明を掲載しております。

■優先株式

優先株式とは、種類株の一種で、他の株式に比べて優先的取扱いを受ける株式のことです。優先株主は、配当や会社清算時の残余財産の分配を普通株主に優先して受ける権利があります。また、取得請求権(株主が発行会社に対して当該株式の取得を請求し、対価として当該発行会社の発行する普通株式等の交付を受けることができる権利)が付与されており、普通株主にとって1株当たり利益や純資産の希薄化効果を有するものが一般的です。

■希薄化

一般的には、時価発行増資や新株予約権の行使等によって、発行済株式総数が増加し、1株当たり純利益(EPS)や1株当たり純資産(BPS)が減少することを指しています。取得請求権付優先株式との関連では、優先株主が発行会社に対して取得請求権を行使すると、発行会社は対価として普通株式(通常は新株)を交付することになりますので、時価発行増資と同様に発行済株式数が増加し、EPSやBPSが減少することになります。

ROA

Return On Asset (総資産利益率)。利益を総資産で除したもので、収益性を示す財務指標のひとつ。企業が、その経営資源(総資産)から、どの程度効率的に収益を生み出しているかをあらわしている。

りそなグループ HPのご案内







本資料中の、将来に関する記述(将来情報)は、次のような要因により重要な変動を 受ける可能性があります。

即ち、本邦における株価水準の変動、政府の方針、法令、実務慣行及び解釈に係る展開及び変更、新たな企業倒産の発生、日本及び海外の経済環境の変動、並びにりそなグループのコントロールの及ばない要因等が考えられます。

本資料に記載された将来情報は、将来の業績その他の動向について保証するものではなく、また実際の結果と比べて違いが生じる可能性があることにご留意下さい。

なお、本資料は情報の提供のみを目的として作成されたものであり、有価証券の勧誘を目的とするものではありません。